

# JR釧網本線の歴史

北海道東部の網走と東釧路を結ぶ166.2kmの鉄道路線、釧網本線。列車は網走・釧路間の169.1kmを運行し、春から秋にかけては、原生花園の美しい花々が世界遺産・知床をバックに咲き誇ります。

1931(昭和6)年、難所だった札鶴(現・札弦)と川湯(現・川湯温泉)の間に釧北トンネルが開通し、全通しました。車窓からの風景も豊かな釧網本線の利用を高めようと2010(平成22)年、沿線自治体・国・道・JR北海道・関係する民間団体などによる釧網本線利用活用推進協議会が発足し、弟子屈町役場に事務局を置いてフォトコンテストなどを行っています。季節ごとに様々な表情を見せる沿線の自然を眺めながら、ぜひ釧網本線の旅をお楽しみください。

## 釧網本線 History

釧網本線の歴史は硫黄の輸送から始まり、その後マッチや枕木などの原料となる原木や炭、製紙工場へのチップ、そして甜菜をはじめとする農産物など、鉱工業、林業、農業の輸送手段として重要な役割を担ってきました。

### ● 安田鉱山鉄道～釧路鉄道

弟子屈町硫黄山で硫黄採掘が1877(明治10)年ころから本格的に始まり、釧路港まで硫黄を運ぶ目的で硫黄山のふもと跡佐登(アトサヌプリ)・ランコチャルから精錬所のあった標茶まで鉄道が敷かれました。北海道で2番目の鉄道(私鉄では最初)です。(標茶から釧路港までは、釧路川を船で輸送)

- ・1888(明治21)年 安田鉱山鉄道 跡佐登ー標茶(五十石)開業
- ・1892(明治25)年 一般私設鉄道条例により釧路鉄道に変更し、旅客輸送も開始
- ・1896(明治29)年 閉山にとまない運行休止
- ・1897(明治30)年 北海道鉄道敷設法により政府が鉄路を買収、1929(昭和4)年に路盤の一部を転用し釧網本線に

### ● 国鉄釧網本線

- ・1896(明治29)年 北海道鉄道敷設法が公布
- ・1919(大正8)年 ルートが決まり、工事着手が決定
- ・1924(大正13)年11月15日 網走本線 網走ー北浜開業
- ・1925(大正14)年11月10日 網走本線 北浜ー斜里(現知床斜里)開業
- ・1927(昭和2)年9月15日 釧網線 別保(現東釧路)ー標茶開業
- ・1929(昭和4)年8月15日 釧網線 標茶ー弟子屈(現摩周)開業
- ・1929(昭和4)年11月14日 網走本線 斜里ー札鶴(札弦)開業
- ・1930(昭和5)年8月20日 釧網線 弟子屈ー川湯(現川湯温泉)開業
- ・1931(昭和6)年9月20日 川湯ー札鶴開業 網走ー東釧路を釧網線に

## ACCESS



### 札幌～網走

特急オホーツク  
約5時間20分

### 札幌～釧路

特急スーパーおおぞら  
約4時間30分

